

国語科学習指導案

指導者

1. 日時・場所 平成23年12月〇日(〇)
2. 学年・組
3. 単元名 古典との出会い 「今に生きる言葉」
4. 本時の目標： 「故事成語」を現代に置き換えて表現することを通して、「故事成語」の意味と使われ方を理解する。
相手にわかりやすく話したり、相手の発表を注意して聞き、自分の考えをまとめることができるようになる。

	主な学習活動と 予想される反応	指導上の留意点	評価規準
導入	1 「矛盾」の音読をする。 2 本時の学習目標と学習活動を確認する。	○漢文のリズムを大切にしながら楽しく音読する。 ○グループで作成した用例を発表し合うことで、「故事成語」への理解を深め、生活の中で使えるようにすることがねらいであることを説明する。	
展開	故事成語を現代に置き換えてわかりやすく発表し、その使い方を理解しよう。		
	3 各グループで発表を行う。 《予想される生徒の反応》 ・どの生活場面で使うのかがわかった。 ・この使い方は、適切なのかな？ ・エピソードがわかりやすいし、アイデアがいいな。 ・イラストや台詞が工夫されていてわかりやすいな。	○グループで協力し、聞き手にわかりやすいように工夫して発表させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>【ICTの活用】 各グループの作成した紙芝居を実物投影機で大型テレビに映す。(一斉形態)</p> </div> ○テレビ画面を見ながら、グループの発表を聞き、「故事成語」の使い方を理解させる。 ○各グループの評価をワークシートに書かせる。	【話す・聞く】 ・わかりやすく工夫しながら説明できる。(授業観察) ・発表内容を聞き、故事成語の意味と使い方を理解することができる。(ワークシート) 【書く】 ・他のグループの発表内容を聞きとり学んだことや気づきをまとめ、評価することができる。(ワークシート)
	4 発表の振り返りをする。	○発表全体を振り返り、気づきや学んだことを書かせる。 ○どのグループの発表が一番良かったか、理由とともに発表させる。	【話す】 ・他のグループの良かったところを理由を明らかにして発表できる。(授業観察)
まとめ	5 本時の学習を振り返る。	○授業記録表に記入させる。 ○「故事成語」を身近なものとしてとらえ、日常生活で使うよう助言する。	

○ICT活用のねらい：

- ・グループで作成した紙芝居を大きく映し、わかりやすく伝える。
- ・テレビ画面に作品を映し出すことで、学習への興味・関心を高める。